

明保小学校地域協議会

学校や児童との交流も兼ねた「地域協議会」の開催

◆学校と地域協議会の懇談会◆

- 懇談会は、毎年実施されており、給食試食会も同日開催しています。懇談会は、給食試食会后、地域協議会及び学校職員（校長、副校長、低・中・高の学級担任（代表）、養護教諭など）で実施されました。
- 学校から、児童の生活や学習の様子などの説明後、懇談会が始まりました。委員から出た意見には、「子どもたちのために」との思いがたくさん込められており、学校側もその思いに丁寧に対応しており、地域と学校がそれぞれの立場を尊重、理解しながら、懇談会は行われました。
- 地域コーディネーターは、懇談会の議事録も担当しています。会議で出た意見は、今後の活動を行う上での貴重な意見としてとらえ、活動に反映できるようにしています。



(上) 懇談会の様子

(左) 議事録をとるコーディネーター

◇給食試食会◇

- 地域協議会委員と児童との交流会も兼ねた給食試食会を毎年行っています。委員は1名ずつ各クラスに招待され、児童と一緒に給食の時間を過ごします。
- 当日は、“読書”と“食育”の共同企画「おはなし給食」の日であり、絵本に登場する料理が再現されていました。委員が、学校給食への理解を深めながらも、食材を話題とした“共食”という食育の取組にも貢献ができるため、今後試食会等を検討している学校及び地域コーディネーターにとっても、おすすめの実践例と言えます。

※共食とは、「一緒に食べる」ことだけではなく、「おいしかったね」などと話し合うことも含まれます。



ある絵本に登場する“プリン”。

味も気になりますが、どの絵本に登場するか気になりますね。

【学校の声】

委員の皆様には、日頃から、積極的に子どもたちの様子を参観していただき、懇談会は、「地域の思い」を知る貴重な機会となっています。また、学習面でも支援していただいております。地域の歴史を学ぶ活動や安全マップ作りでは、地域をよく知る委員の方からの確かな助言をいただくことで、充実した学習活動が展開できます。

今後も、子どもたちのために、学校、地域、保護者が一体となった取組を推進していければと思います。

【地域協議会の声】

地域コーディネーターとして、地域の方々がもつ様々な思いに触れていると、まだまだ応えきれていないところがあるなと感じています。「できる時に/できることを/できる範囲で」のもと、今後も、学校と地域をつなぐパイプ役として、地域の方々がもつ思いを1つでも多く叶えられるように、サポートとバックアップをしていきたいです。

【いいね！】

- 試食会前、会議室入口に、各学級の代表児童がご招待する委員を迎えにきていた際、児童の元気な挨拶と明るい笑顔に、委員も笑顔で応じていた。何気ない場面だと思われがちだが、様々な場面に地域と子どもたちがつながりを持ち、交流する仕掛けづくりが図られていた好事例である。

